2 暮らし

～自然豊かな地域で共に支え、誰もが安心して、
いきいきと快適に暮らすまち～

基本政策
2-1

環境の保全

～豊かな自然と生活環境を守り暮らししています～

政策の方針

地球規模の環境問題が深刻化している中、本市の豊かな自然環境を守り、次世代に引き継いでいく必要があります。

そのために、市民が地球温暖化の防止や自然保護について理解と関心を持って行動できるように啓発を進めるとともに、リサイクルやごみの減量化など循環型社会*の構築に取り組みます。また、公害の未然防止に向けた対策やまちの美化を推進します。

(市民や企業に期待される役割)

◇市民の役割(地域、市民団体等を含む)

- ・省エネルギーの取り組みと再生可能エネルギー*の導入
- ・自然環境への理解と保護活動
- ・ごみの減量化とリサイクルへの取り組み
- ・清掃活動への積極的な参加など地域の環境美化の取り組み
- ・花苗の植栽や緑化の推進

◇企業の役割(事業所、個人生産者等を含む)

- ・省エネルギーの取り組みと再生可能エネルギー*の導入
- ・自然環境への理解と保護活動
- ・ごみの減量化とリサイクルへの取り組み
- ・汚染物質の排出削減と法令遵守
- ・緑化の推進

成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H31	H35
自然環境と生活環境が守られていると感じる市民の割合	市の自然環境・生活環境の保全状況を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市(市民アンケート)	37.0%	43.4%	50.0%

関連計画

- 国土利用計画花巻市計画(平成20年度～)
- 第2次花巻市環境基本計画(平成28～35年度)
- 岩手中部広域行政組合一般廃棄物処理基本計画(平成26～40年度)
- 岩手中部広域行政組合一般廃棄物処理施設基本計画(平成26～37年度)
- 第2次花巻市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(平成28～37年度)
- 花巻市公共建築物等木材利用促進基本方針(平成25年度～)

施策1 地球温暖化の防止

◇目指す姿

温室効果ガス*の排出に配慮した生活をしています

◇現状と課題

- ・地球温暖化を防止するためには、温室効果ガス*削減に向けた市民一人ひとりの取り組みが大切です。
- ・温室効果ガス*の排出削減を図るため、再生可能エネルギー*の導入は必要ですが、経済的な負担等の問題があります。

◇施策の方向

(1)省エネルギー型の暮らしへの転換

- ・市設置防犯灯のLED化の推進に向けた手法の検討
- ・公共施設等におけるLED照明など高効率機器の導入推進
- ・再生可能エネルギー*の利活用の促進と省エネルギーを一層推進するライフスタイルの普及

(2)地球温暖化対策の意識啓発

- ・日常生活や事業活動における温室効果ガス*排出削減に対する意識啓発

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
環境にやさしい取り組みを行っている市民の割合	市民自らが環境にやさしい生活をしているかどうかを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	52.5%	57.0%	59.0%	61.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
温暖化対策意識啓発事業 （生活環境課）	クールビズやウォームビズ、エコドライブなど温暖化対策についてホームページや広報紙等を利用して意識啓発を実施する。	165

施策2 自然環境の保全

◇目指す姿

自然への理解を深め、自然を保護する活動を行っています

◇現状と課題

- ・高山植物の保護など早池峰山地域における自然環境を守る必要があります。
- ・早池峰国立公園の利用環境の向上のため、携帯トイレの利用促進が図られていますが、登山者からはバイオトイレ*整備を求める声があります。
- ・急激に増殖しているニホンジカによる高山植物等の食害が懸念されています。
- ・早池峰山の河原の坊登山道は、平成 28 年5月に発生した山腹崩落により閉鎖措置が続いていることから、登山者の安全確保が必要です。
- ・特定外来生物*の生息域の拡大により、在来種の衰退などの生態系への影響が懸念されています。

◇施策の方向

(1) 自然保護の推進

- ・早池峰山等の自然環境保護と利用環境の向上
- ・ニホンジカ食害の防止対策
- ・水質の定期観測
- ・希少生物等の保護への支援、啓発
- ・環境学習などを通じた環境保全意識の啓発

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
自然環境を守るための行動を実際に行っている市民の割合	市民の自然環境を守る活動状況を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	62.3%	69.0%	71.0%	73.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
環境学習推進事業 (生活環境課)	市民が環境を守ることに對する意識向上を図るため、環境マイスター（環境学習推進員）の派遣や水生生物調査などの環境学習の機会を提供する。	165

施策3 公害の防止

◇目指す姿

公害から生活が守られています

◇現状と課題

- ・市内の大気汚染、河川の水質汚濁、道路騒音等の測定値は、概ね環境基準を達成していますが、悪臭により市民生活に悪影響を受けている地域があります。
- ・東日本大震災に伴う放射能影響に対する住民等の不安は未だ解消されていません。

◇施策の方向

(1) 公害対策の推進

- ・公害に対する事業者への指導と各種検査の実施
- ・悪臭に対する監視体制、改善指導の強化

(2) 放射能測定体制の維持

- ・放射能の継続監視
- ・市民への正確な情報伝達

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
悪臭モニターの年間感知日数	市の主な公害である悪臭の状況について示す指標です。減少を目指します。 <small>花巻市生活環境課調べ</small>	214日	180日	180日	180日

◇主要事業

事業名(担当課)	事業概要	掲載P
公害防止対策事業 (生活環境課)	公害の発生防止のため、工業団地等における騒音・悪臭等の定期的な監視や、河川・工業排水等の水質検査等を実施するほか、事業場への指導を行う。	165

施策4 循環型社会*の構築

◇目指す姿

物を大切に使い、ごみの減量化に取り組んでいます

◇現状と課題

- ・本市におけるごみの年間排出量は、ほぼ横ばいで推移しています。
- ・不法投棄によるごみの回収量は、ほぼ横ばいで推移しており、不法投棄が後を絶たない状況です。

◇施策の方向

(1)ごみの減量対策

- ・ごみの分別啓発
- ・3R(ごみの発生抑制、再利用、再生利用)の推進
- ・生ごみの減量推進
- ・事業系一般廃棄物のリサイクル化への推進
- ・ごみの有料化を含めた減量化施策の調査研究

(2)廃棄物の適正な処理

- ・近隣市町との安定的かつ経済的な廃棄物の処理
- ・清掃センターと最終処分場の適正な管理

(3)不法投棄の防止

- ・啓発活動とパトロール体制の強化

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
市民一人当たりの一般廃棄物排出量(家庭系)	家庭ごみの排出状況を示す指標です。減少を目指します。 花巻市生活環境課調べ	170.7 kg	168.0 kg	164.1 kg	160.2 kg
市内全事業所の一般廃棄物排出量(事業系)	事業所ごみの排出状況を示す指標です。減少を目指します。 花巻市生活環境課調べ	12,842t	12,508t	12,115t	11,722t
一般廃棄物のリサイクル率(家庭系)	家庭での分別・リサイクルの取り組みを示す指標です。増加を目指します。 $(資源集団回収量 + 資源ごみ) / 総排出量(家庭系排出量 + 資源集団回収量)$	22.6%	23.4%	23.6%	23.8%

政策 2-1 環境の保全

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
清掃センター改修事業 （清掃センター）	清掃センターの粗大ごみ処理施設の適切な管理のため、電気設備等の改修を行う。	165
再資源化推進事業 （生活環境課）	ごみの減量化のため、資源集団回収団体への支援や3R推進を行い再資源化を図る。	165
ごみ処理事業 （生活環境課）	ごみの適正処理のため、家庭ごみ分別表・カレンダーの配布や広域でのごみ処理の推進を図る。	165

施策5 花のあるきれいなまちづくり

◇目指す姿

身近な暮らしの中に花が取り入れられ、清掃が行き届いています

◇現状と課題

- ・花いっぱい運動を支えてきた花壇実践者の高齢化と減少が進んでいます。
- ・市民総参加早朝一斉清掃など、地域の美化運動に参加している市民の割合は横ばい(市民アンケート)と伸び悩んでいます。
- ・既存公園の維持管理が十分でないとの意見から、市民の満足度が低いことがうかがえます。
- ・公園トイレの水洗化を下水道事業と連携し進めるとともに、高齢化や生活様式の変化に伴い洋式化への要望があります。
- ・墓地継承者の不在等により、市営墓園の中には管理が行き届いていない墓地があります。

◇施策の方向

(1) 美化意識の向上

- ・花いっぱい運動の推進
- ・花壇実践団体への支援
- ・大規模イベントにおける花いっぱいのおもてなし

(2) 環境衛生の推進

- ・市内一斉清掃の参加促進
- ・河川清掃活動の参加促進

(3) 公園環境の整備

- ・公園および緑地の整備、維持管理
- ・公園トイレの水洗化および洋式化

(4) 墓園・火葬場の維持管理

- ・市民ニーズに対応した市営墓園の適正な維持管理
- ・火葬場の計画的修繕と適正な管理運営

政策 2-1 環境の保全

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
地域の中で花による美化が進められていると感じる市民の割合	花による美化推進の状況を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	57.4%	64.0%	65.0%	66.0%
住んでいる地域の美化活動に参加している市民の割合	清掃が行き届いたまちづくりに向けた市民の活動状況を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	56.0%	58.0%	60.0%	62.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
花と緑の創出事業 （生活環境課）	花のあるきれいなまちづくりのため、花苗の配付や啓発イベントの実施を通じて花いっぱい運動を推進する。	165
公園整備事業 （生活環境課）	市民が安全、快適に公園や緑地を利用することができるようにするため、園路や広場、植栽、遊具、トイレなど公園施設の整備を行う。	165

生活基盤の充実

～生活に必要な基盤が整い、快適に暮らしています～

政策の方針

市民が快適な生活を送るためには、道路や住宅、水道など生活に必要な基盤が整備されていることが必要です。

そのために、安全で利便性の高い道路の整備をはじめ、利用しやすい公共交通の確保、安心して生活できる住宅の確保、地域の特色を活かした景観の形成、安全でおいしい水の安定的な供給、汚水の適切な処理、さらには、快適な情報通信環境の整備促進に取り組みます。

（市民や企業に期待される役割）

◇市民の役割（地域、市民団体等を含む）

- ・除雪や草刈りなどの道路環境維持への協力
- ・公共交通の積極的な利用
- ・住宅の耐震化
- ・地域で取り組む景観の形成・維持
- ・宅地内の水道給水装置の適切な管理
- ・汚水処理施設への接続
- ・情報通信サービスの積極的な利用

◇企業の役割（事業所、個人生産者等を含む）

- ・除雪や草刈りなどの道路環境維持への協力
- ・公共交通の利便性の向上
- ・快適な集合住宅の提供
- ・地域の景観にあった建物・看板の設置
- ・敷地内の水道給水装置の適切な管理
- ・汚水処理施設への接続
- ・情報通信サービスの利便性の向上

成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H31	H35
生活基盤整備に満足している市民の割合	<p>普段の生活の中で利用する道路や上下水道、公共バス、情報通信環境などの基盤整備状況の市民満足度を示す指標です。増加を目指します。</p> <p>出典：花巻市（市民アンケート）</p>	70.3%	71.9%	73.9%

関連計画

- 国土利用計画花巻市計画(平成 20 年度～)
- 花巻市都市計画マスタープラン(平成 22 年度～)
- 花巻市橋梁長寿命化修繕計画(平成 28～33 年度)
- 岩手中部水道企業団水道ビジョン(平成 28～37 年度)
- 第2次花巻市一般廃棄物(し尿)処理基本計画(平成 28～38 年度)
- 花巻市地域公共交通網形成計画(平成 29～35 年度)
- 花巻市営住宅等長寿命化計画(平成 23～32 年度)
- 花巻市立地適正化計画(平成 28～47 年度)
- 花巻市空家等対策計画(平成 28～32 年度)

施策1 道路環境の充実

◇目指す姿

安全で利便性の高い道路が整備されています

◇現状と課題

- ・花巻市公共施設マネジメント計画およびストック総点検*に基づく長寿命化修繕計画による将来を見据えた効率的な修繕の検討と財源の確保が必要です。
- ・国道4号の山の神・村崎野間はボトルネック*となっていて、慢性的な渋滞がおきているなど、国・県道についても更なる整備が必要となっています。

◇施策の方向

(1)道路の整備・維持管理

- ・主要幹線道路、都市計画道路、生活道路の整備
- ・舗装修繕等の道路環境の維持
- ・交通安全環境の整備
- ・国・県道の整備要望
- ・除雪体制の効率化

(2)橋梁の整備・維持管理

- ・橋梁長寿命化修繕計画に基づいた橋梁の維持修繕や架け替え整備

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
市道の改良率	道路整備の状況を示す指標です。増加を目指します。 改良延長/市道延長	55.9%	56.3%	56.5%	56.7%
市道の舗装率	道路整備の状況を示す指標です。増加を目指します。 舗装延長/市道延長	52.0%	52.4%	52.6%	52.8%
歩道の整備延長	道路整備の状況を示す指標です。増加を目指します。 花巻市道路課調べ	178,611m	182,011m	184,211m	186,411m

政策 2-2 生活基盤の充実

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
生活道路維持事業 （道路課）	生活道路の安心・安全を確保するため、修繕や除排雪等の維持管理を行う。	165
生活道路整備事業 （道路課）	安全で快適な道路網を構築するため、市道の新設改良や現道舗装、都市計画道路の整備等を行う。	165
橋梁維持事業 （道路課）	交通の安全を確保するとともに橋梁の長寿命化を図るため、予防保全型維持修繕を行う。	165
橋梁整備事業 （道路課）	安全で快適な道路網を構築するため、市道橋梁の架け替えを行う。	165
交通安全環境整備事業 （道路課）	歩行者の安心・安全を確保するため、歩道設置やバリアフリー化等の整備を行う。	166
道の駅整備事業 （道路課）	道の駅を核とした地域の連携強化を図るため、設置に向けた検討をし、整備を行う。	166

施策2 公共交通の確保

◇目指す姿

公共交通が利用しやすくなっています

◇現状と課題

- ・バス事業は、経費に比して利用者が著しく少ない状況が続いています。
- ・市街地循環バス(ふくろう号)は、利便性の良さから増便が求められています。
- ・市内JR駅周辺の駐車場が不足しています。
- ・いわて花巻空港を発着する国内線の利用は概ね順調ですが、冬季利用率の落ち込みが著しい状況にあります。また、訪日外国人観光客にとって便利な発着便が少ない状況にあります。

◇施策の方向

(1) 利便性の高い公共交通の確保

- ・予約応答型乗合交通*の更なる拡充
- ・市街地循環バス(ふくろう号)の増便と利便性の向上
- ・新花巻駅駐車場の整備の促進(舗装有料化)
- ・石鳥谷駅および花巻空港駅の駅前駐車場の整備

(2) 航空便の利用促進

- ・航空便の増便に向けた関係機関への要望活動
- ・空港利用促進のためのPR
- ・岩手県が行う国際定期便およびチャーター便*等の誘致促進事業への協力

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
公共バス(市運営、民間運営)の利便性に満足している市民の割合	市民の身近な公共交通であるバス(市運営、民間運営)の利便性満足度を示す指標です。満足度の維持を目指します。 出典：花巻市(市民アンケート)	42.9%	43.0%	43.0%	43.0%
花巻空港年間利用者数	空港の利用状況(国内便・チャーター便*)を示す指標です。岩手県で掲げる空港利用促進の目標値達成を目指します。 出典：岩手県(いわて花巻空港の利用実績)	39.9万人	42.3万人	43.1万人	43.1万人

政策 2-2 生活基盤の充実

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
空港利用促進事業 （観光課）	花巻空港の利用促進のため、関係団体と連携して要望活動やPR活動を実施する。	166
公共交通確保対策事業 （都市政策課）	快適で便利かつ持続可能な公共交通サービスを提供するため、予約応答型乗合交通*や循環バスを運行するとともに、民間路線バスの運行を支援する。	166
都市施設機能改善事業 （都市政策課・石鳥谷総合支所地域振興課）	新花巻駅、石鳥谷駅および花巻空港駅の利便性を高めるため、駅前駐車場の整備を行う。	166

施策3 住宅の安定確保

◇目指す姿

安心して生活できる住宅を確保しています

◇現状と課題

- ・木造住宅の耐震診断を実施しても補強工事に至る例が少なく、平成 27 年度末の実績では耐震診断件数 270 件に対し、耐震工事を行った件数は 15 件にとどまっています。
- ・市営住宅は、平成 27 年度末の管理棟数 235 棟のうち 19 棟(約8%)が耐用年数を超過しており、老朽化が進んでいます。
- ・人口減少による住宅ストックの余剰が更に進み、空家問題がより深刻化する恐れがあります。
- ・東日本大震災の沿岸被害者を受け入れる災害公営住宅を建設する必要があります。

◇施策の方向

(1)市営(公営)住宅の整備・維持管理

- ・市営住宅の適正な戸数等、維持管理の方針について、花巻市公営住宅等長寿命化計画の改正に合わせ再検討
- ・花巻地区中心市街地への災害公営住宅および地域優良賃貸住宅*の建設

(2)街なか居住の推進

- ・高齢社会に対応した居住環境の充実
- ・良好な市街地住宅の供給

(3)安全な建築物の整備促進

- ・耐震基準*に満たない危険性のある住宅、大規模建築物の解消

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
市営住宅大規模改修計画に対する進捗率	市営住宅の長寿命化改修の進捗状況を示す指標です。増加を目指します。 実施戸数 / 計画戸数	57.1%	73.0%	79.4%	84.1%
住宅の耐震化率	市内全住宅に占める耐震住宅の割合を示す指標です。増加を目指します。 耐震化住宅数 / 市内全住宅数	66.8%	69.0%	70.1%	71.2%

政策 2-2 生活基盤の充実

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
建築物耐震対策促進事業 （都市政策課）	安心・安全な大規模建築物の耐震化を図るため、耐震診断に係る費用の一部を助成する。	166
木造住宅耐震化推進事業 （都市政策課）	安心・安全なまちづくりを進めるため、現行の耐震基準*に満たない住宅について、住宅の耐震化を推進する。	166
市営住宅環境改善事業 （都市政策課）	安心して生活できる住環境を入居者へ提供するとともに施設の長寿命化を図るため、市営住宅の大規模修繕を行う。	166
高齢者居住支援事業 （都市政策課）	高齢者の居住の安定を確保するため、高齢者向け優良賃貸住宅へ入居する高齢者への家賃補助を行う。	166
公営住宅等建設事業 （都市政策課）	東日本大震災の沿岸被災者の住宅を確保するため、花巻地区中心市街地に災害公営住宅を建設する。また、街なか居住の誘導策として、地域優良賃貸住宅*の整備を検討する。	166
公民連携推進事業 （都市再生室）	中心市街地の再生と持続的な都市経営を実現するため、公共施設整備に公民連携手法を導入し「稼ぐインフラ」として整備することを検討する。また、市街地における遊休不動産を民間主導で活用し新たな産業・雇用を生み出すリノベーションまちづくり手法*を導入し、中心市街地の魅力と価値を向上させる。	166
都市再生推進事業 （都市再生室）	立地適正化計画*における誘導施設として総合花巻病院移転整備への支援を行うほか、エセナ跡地をまちなか回遊、休憩のための広場として整備するとともに、図書館移転整備などを内容とする都市再生整備計画（第2期）の策定に向けた検討を行う。	166
リノベーション*まちづくり推進事業 （都市再生室）	中心市街地の再生のため、リノベーション*まちづくりを推進する民間自立型まちづくり会社など担い手の育成と支援を行うとともに、不動産オーナーの意識啓発を図るため、リノベーション*スクールを開催する。	166

施策4 景観形成の推進

◇目指す姿

地域の特色を活かした景観が形成されています

◇現状と課題

- ・景観形成には古くからの街並みや遊休地、農地山林の適切な維持・管理・保全など多様な取り組みが必要です。

◇施策の方向

(1) 景観形成の推進

- ・地域との協働*による良好な景観の保全
- ・市民との協働*による古くからの街並みの景観保全の検討

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
地域の景観に愛着を持っている市民の割合	地域の景観に愛着を持っている市民の割合を示す指標です。現在の高い満足度の維持を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	70.1%	70.0%	70.0%	70.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
景観保全推進事業 （都市政策課・大迫総合支所地域振興課）	地域間の交流の促進に資するため、現にある良好な街並みを保全する。	166

施策5 安全な水の安定的供給

◇目指す姿

安全でおいしい水をいつでも利用しています

◇現状と課題

- ・岩手中部水道企業団が管理する水道施設は、老朽化が進んでいます。
- ・井戸水や沢水を生活用水としている水道未普及地域では、渇水時の水不足や降水時の水質汚濁の問題があり、安全な水の安定的な確保が必要です。

◇施策の方向

(1) 安定した水の供給

- ・岩手中部水道企業団による水の安定供給
- ・岩手中部水道企業団による水道施設の適切な維持管理や計画的な施設更新

(2) 水道未普及地域の支援

- ・水道給水区域外の浄水施設等設置による生活用水確保支援

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
浄水施設等設置率	水道未普及地域における浄水施設等の設置状況を示す指標です。増加を目指します。 浄水施設設置基数 / 浄水施設設置検討世帯数 (60世帯)	46.7%	55.0%	61.7%	68.3%

◇主要事業

事業名 (担当課)	事業概要	掲載P
水道未普及地域対策事業 (生活環境課)	水道未普及地域において安全な生活用水を確保するため、浄水施設等の設置に対して補助を行う。	166

施策6 汚水の適切な処理

◇目指す姿

下水利用環境が整っています

◇現状と課題

- ・公共下水道は中心市街地から周辺地域の整備へと移行し、汚水処理人口普及率は、平成 27 年度末で 88.7%となっています。
- ・市内で汚水処理施設を利用できる状態にある市民のうち、実際に接続して利用している市民の割合を示す水洗化率は、平成 27 年度末で 77.0%となっています。
- ・汚水処理施設の経年劣化が進んでいます。
- ・国の方針により、資産管理と効率的な下水道運営を行うため、平成 30 年度までに公営企業会計*に移行する必要があります。
- ・下水道整備区域外の浄化槽の整備が進んでいないことが課題となっています。

◇施策の方向

(1) 汚水処理施設の整備と維持管理

- ・公共下水道の整備、長寿命化対策による効果的な維持管理
- ・農業集落排水施設などの改修更新、維持管理
- ・公営企業会計*への移行

(2) 水洗化の推進

- ・浄化槽事業の市民ニーズに対応した効率的な制度の充実
- ・汚水処理施設への接続に係る補助金交付、融資あっせん、利子補給
- ・公共下水道および農業集落排水施設の未接続者への働きかけ

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
汚水処理人口普及率	汚水処理施設の整備状況を示す指標です。増加を目指します。 <small>整備区域内人口 / 市全人口</small>	88.7%	90.1%	90.8%	91.5%
水洗化率	汚水処理施設への接続状況を示す指標です。増加を目指します。 <small>汚水処理施設利用人口 / 市全人口</small>	77.0%	79.5%	80.9%	82.3%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
し尿処理事業 (生活環境課)	し尿の適切な処理のため、収集運搬や広域での処理を行う。	167

施策7 情報通信環境の充実

◇目指す姿

情報通信サービスを快適に利用しています

◇現状と課題

- ・本市の光通信サービス接続可能世帯数は平成 27 年度末で 96.0%となっており、市内全世帯では光通信サービスが受けられない状況です。
- ・光通信サービスを提供する通信事業者では、既に光通信環境が整備されたエリア内での加入率が目標に達するまで、新たな光通信エリア整備を行わないこととなりました。
- ・通信事業者による光通信環境整備が見込まれない地域についても、情報通信サービスが快適に利用できる環境づくりが必要です。

◇施策の方向

(1) 情報通信環境の整備促進

- ・通信事業者等への通信環境整備促進の働きかけ
- ・光通信サービス接続可能エリアに対する、サービス利用の啓発
- ・通信事業者等による通信環境整備が見込まれない地域に対する快適な情報通信サービスの提供

(2) ICT*の利活用

- ・情報通信サービスの向上に向けたICT*の利活用

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
光通信エリア普及率	市内で高速光通信が利用できる世帯の状況を示す指標です。増加を目指します。 光通信利用可能エリア世帯数/市内世帯数	96.0%	96.4%	96.9%	97.4%

◇主要事業

事業名(担当課)	事業概要	掲載P
情報通信基盤整備事業 (秘書政策課)	インターネットを活用した情報収集の利便性を向上させるため、通信事業者による光通信環境整備が見込まれない地域において、快適な情報通信サービス提供方法の検討を行う。	167

防災危機管理体制の充実

～災害や様々な危険から守られ、暮らしています～

政策の方針

地震や風水害をはじめとした自然災害のほか、事故や火災など予期せぬ様々な危険から市民の生命や財産を守るためには、東日本大震災の経験を生かすなど、日頃からの備えが必要です。

そのために、地域と行政が連携した危機管理体制を強化するとともに、水害や土砂災害など自然災害防止のための対策を進めます。また、消防、救急救助体制の強化を図ります。

（市民や企業に期待される役割）

◇市民の役割（地域、市民団体等を含む）

- ・災害に備えての非常食や資機材等の備蓄
- ・災害時の行動の事前確認
- ・地域の防災講習や訓練等、自主防災組織*活動の積極的な企画実施と参加
- ・家庭や地域、職場等で身近な人を助ける意識の向上
- ・災害危険箇所等の地域内点検および行政への的確な伝達
- ・防火意識の向上と消火器や住宅用火災警報器の設置
- ・防火講話会および応急手当講習会への参加
- ・消防団活動への理解と協力
- ・救急車の適正利用

◇企業の役割（事業所、個人生産者等を含む）

- ・災害に備えての非常食や資機材等の備蓄
- ・防災講習や訓練等、企業防災組織活動の積極的な企画実施と従業員の参加
- ・災害時の地域への支援と協力
- ・所有する建築物等の耐震化
- ・消防団活動への理解と協力
- ・安全な職場環境の整備
- ・消防関係法令の遵守

成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H31	H35
防災面で安全・安心で あると考えている市 民の割合	防災対策に対する市民満足度を示す 指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	48.0%	56.0%	64.0%

関連計画

- 花巻市地域防災計画（平成 26 年度～）
- 花巻市水防計画（平成 26 年度～）
- 花巻市消防計画（平成 18 年度～）

施策1 危機管理体制の強化

◇目指す姿

様々な危機に迅速に対応しています

◇現状と課題

- ・国の河川洪水による浸水想定区域や避難行動の考え方が見直されています。
- ・自主防災組織*や住民への情報伝達や避難場所、避難方法、連携体制について課題が生じています。
- ・市と国や県等防災関係機関との強固な連携体制が求められています。
- ・災害時における本庁・支所間の情報通信手段の強化が必要です。
- ・コミュニティFM*による災害時の情報が伝わらない地域があるなど災害時の住民に対する情報伝達に課題があります。
- ・東日本大震災によるみなし仮設供与期間終了に伴い住宅確保や生活に不安を感じている被災者がいます。

◇施策の方向

(1) 危機管理体制の確立

- ・避難勧告の発令基準と行動を定めた避難勧告等発令・伝達マニュアルの見直し
- ・防災訓練における地域と市、防災関係機関との連携強化
- ・避難に関する情報伝達体制、避難場所、避難方法の見直し
- ・国、県等の防災関係機関とのホットラインによる情報伝達体制の構築
- ・本庁、支所間の連携体制の強化と訓練の充実
- ・無線による通信手段、通信体制の整備

(2) 自主防災組織*の活動促進

- ・自主防災組織*リーダー研修による組織の育成、活動支援
- ・防災講話や防災訓練等の実施
- ・個別計画の作成による要配慮者の支援体制の確立

(3) 市民への確実な情報伝達

- ・コミュニティFM*、緊急速報メール、テレビ等による情報伝達手段の充実
- ・コミュニティFM*難聴地域の解消の検討

(4) 震災被災者の生活支援

- ・震災被災者への被災者支援タクシー助成等の継続した生活支援体制の構築

政策 2-3 防災危機管理体制の充実

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
自主防災組織*の結成割合	災害時における地域の防災力を示す指標です。市内全域での結成に向け、増加を目指します。 組織内世帯数/市内世帯数	91.7%	95.0%	98.0%	100%
防災訓練を実施した自主防災組織*数	自主防災組織*の活動の度合いを示す指標です。防災活動を実施した組織数の増加を目指します。 花巻市防災危機管理課調べ	91 組織	110 組織	120 組織	130 組織

◇主要事業

事業名(担当課)	事業概要	掲載P
自主防災組織*支援事業 (防災危機管理課)	地域住民による自主的な防災活動を促進するため、自主防災組織*の活動と未組織地域における設立を支援する。	167
被災者支援事業 (防災危機管理課)	市内に在住する震災被災者のニーズに対応するため、現在の生活状況や今後の意向を把握して必要な支援をする。	167
生活再建住宅支援事業 (都市政策課)	東日本大震災で地震や津波により被災した被災世帯の住宅再建を支援する。	167

施策2 自然災害対策の強化

◇目指す姿

水害や土砂災害から守られています

◇現状と課題

- ・市管理水路の氾濫常襲地等の未改修箇所があります。
- ・河川洪水に対して危険な地域があります。
- ・国による北上川、豊沢川、猿ヶ石川の浸水想定区域が見直されています。
- ・県により新たな土砂災害警戒区域*、土砂災害特別警戒区域*が指定されています。
- ・市民への避難場所や避難経路の周知が十分ではありません。
- ・耐震性を有していない指定避難所があります。
- ・災害時に地域に十分な物資を速やかに供給する体制づくりが求められています。
- ・備蓄食料、備蓄物資が不足しています。

◇施策の方向

(1) 災害危険箇所の解消

- ・市が管理する水路の氾濫常襲地の計画的改修
- ・国・県管理河川の改修や堤防整備の要望

(2) 災害危険箇所・避難場所の周知

- ・見直しが必要な箇所のハザードマップの更新
- ・防災訓練や防災講話を通じたハザードマップ等による危険箇所、避難場所の周知および避難経路の確認

(3) 防災施設整備の充実

- ・耐震性を有していない指定避難所の耐震改修
- ・市内の流通・運送業者との協定の締結等による災害用物資の供給および受援体制の構築
- ・備蓄計画の見直しおよび計画的備蓄

(4) 防災連携体制の充実

- ・近隣市町村と連携した防災訓練の実施

政策 2-3 防災危機管理体制の充実

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
水や食料、備品等を備蓄している市民の割合	災害に対する市民の備えを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	35.7%	42.0%	47.0%	52.0%
自然災害時における避難場所を把握している市民の割合	災害に対する市民の備えを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	83.2%	86.0%	88.0%	90.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
災害用物資備蓄事業 （防災危機管理課）	災害発生時の初動に対応するため、水や食料、毛布等の物資を備蓄する。	167
避難対策事業 （防災危機管理課）	災害時における迅速な避難および避難所の円滑な運営を行うため、環境整備を行う。	167
自然災害防止対策事業 （道路課）	自然災害を未然に防ぐため、急傾斜地の崩壊等を防ぐ対策を行う。	167
河川排水路改修事業 （道路課）	水害を防止するため、河川、水路が氾濫しないよう整備を行う。	167

施策3 消防力の強化

◇目指す姿

火災から守られています

◇現状と課題

- ・消防車両、消防施設老朽化により修繕等のランニングコスト*が増加傾向にあります。
- ・「自ら考え、行動し、市民から信頼される高い人間力を持った消防職員」が求められています。
- ・地域防災の要である消防団員に占める被雇用者の割合が増加し、確保が困難になっています。
- ・火災から市民を守るためには、消防機関だけではなく、事業所、地域および市民が協働*した予防体制の強化が必要です。
- ・火災件数の半数が「たき火」や「草焼き」などを原因とする野火火災となっています。

◇施策の方向

(1) 消防施設等の整備

- ・消防車両、消防施設の整備、更新
- ・消防水利、消防団施設等の整備、更新
- ・消防職員の育成

(2) 地域の消防力の向上

- ・消防団員の確保対策を推進
- ・消防団組織の見直しの検討
- ・消防団員の活動環境の整備
- ・消防団員応援事業の推進

(3) 防火意識啓発と安全管理の強化

- ・事業所や市民を対象とした防火意識の普及啓発
- ・防火対象物の査察、指導
- ・乾燥時季の火災予防啓発

政策 2-3 防災危機管理体制の充実

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
火災件数（暦年）	火災による被害件数を示す指標です。全国平均への減少を目指し、その水準を維持します。 <small>花巻市消防本部予防課調べ</small>	50件	40件	40件	40件
消防団員の充足率	地域における消防力を示す指標です。増加を目指します。 <small>消防団員数／条例で定める定数（2,142人）</small>	89.4%	91.0%	92.0%	93.0%
住宅用火災警報器の設置率	火災予防に対する市民意識を示す指標です。増加を目指します。 <small>設置数／調査世帯数</small>	82.0%	85.0%	85.0%	85.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
火災予防充実強化事業 （消防本部予防課）	火災件数の減少と死傷者ゼロを目指し火災を未然に防止するため、火災予防対策強化および防火意識の向上を図る。	167
消防拠点施設等整備事業 （消防本部総務課・警防課）	消防拠点施設の充実・強化のため、施設および車両を更新整備する。	167
消防団員育成強化事業 （消防本部総務課）	持続可能な消防団の構築のため、編成の改革や新団員の入団促進を図るとともに、地域消防力の充実・強化のため、消防団員装備の充実や組織の活性化を図る。	167
消防団施設等整備事業 （消防本部総務課）	地域消防力の充実・強化のため、消防団の施設および車両を更新整備する。	167
消防水利維持管理整備事業 （消防本部警防課）	火災発生時の消火を迅速に行うため、消防水利の整備と維持管理を行う。	167

施策4 救急救助体制の強化

◇目指す姿

迅速な救命・救助が行われています

◇現状と課題

- ・職員の退職や異動により、救急救命士等の資格取得者が減少してきています。
- ・各種災害に対応した迅速で効率的な現場活動が求められています。
- ・救急隊員の行う救命処置向上のため医療機関との連携強化が重要です。
- ・救急車到着までの家族等による応急手当実施率が全国平均よりも低いことから実施率向上が必要です。
- ・緊急性のない 119 番通報が増加しています。

◇施策の方向

(1) 迅速な救急救命体制の構築

- ・救急救命士、救助隊員の養成
- ・救急救助資機材の充実
- ・医療機関との連携強化
- ・救命講習会、防火講話会、コミュニティFM*等を活用した救急車適正利用の啓発
- ・携帯電話位置情報システムの活用と、固定電話の利用啓発

(2) 応急手当の普及

- ・応急手当普及員と連携した市民への応急手当講習の実施
- ・自主防災会訓練時の応急手当講習の推進
- ・小学校高学年を含めた市民への救命講習の普及推進

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
救急車到着平均時間 (暦年)	救急救助の速度を示す指標です。 出動件数は、ほぼ横ばい状態です。 直近の最速水準の維持を目指します。 花巻市消防本部警防課調べ	8.1 分	7.8 分	7.8 分	7.8 分
応急手当実施率 (暦年)	応急手当の普及割合を示す指標です。 増加を目指します。 家族等により応急手当が実施された傷病者数 ÷ 救急搬送された心肺停止傷病者数	41.0%	47.0%	48.0%	49.0%

政策 2-3 防災危機管理体制の充実

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
消防・救急救助充実強化事業 （消防本部警防課）	多種多様化する災害現場活動に対応するため、隊員の各種訓練、研修会への参加および救急救命士資格の取得を行い、隊員の技術向上を図る。	168
応急手当普及事業 （消防本部警防課）	救命率および応急手当実施率の向上を図るため、応急手当の普及啓発により、応急手当を行える市民を育成する。	168

基本政策
2-4

日常生活の安全確保

～安全・安心な日常生活を送っています～

政策の方針

市民が日常生活を安全に安心して送るためには、悩みや問題の解決に向けた支援や地域と連携した安全確保の取り組みが必要です。

そのために、市民の生活相談に的確に対応できる体制を充実させるとともに、地域と連携した防犯活動や交通安全活動を推進します。

（市民や企業に期待される役割）

◇市民の役割（地域、市民団体等を含む）

- ・消費者トラブル回避のための知識の向上
- ・適切な空き家管理
- ・日ごろからの防犯意識の保持と地域の防犯活動への参加
- ・地域活動への積極的な参加と近所とのコミュニケーションの形成
- ・交通ルールの遵守

◇企業の役割（事業所、個人生産者等を含む）

- ・事業所等の防犯機能の強化
- ・振り込め詐欺などの被害防止のための顧客への啓発や従業員への教育
- ・従業員に対する交通安全教育と自社車両の適切な整備

成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H31	H35
消費者トラブル件数 (相談件数)	消費者トラブル被害の状況を示す指標です。減少を目指します。 <small>花巻市市民生活総合相談センター調べ</small>	770件	756件	750件
侵入窃盗件数 (暦年)	侵入窃盗被害の状況を示す指標です。低い水準である現状の維持を目指します。 <small>出典：岩手県警察本部（統計資料）</small>	35件	35件	35件
交通事故負傷者数 (暦年)	交通事故（人身事故）被害の状況を示す指標です。負傷者の減少を目指します。 <small>出典：岩手県警察本部（統計資料）</small>	261人	189人	177人

関連計画

○花巻市空家等対策計画（平成28～32年度）

施策1 生活相談の充実

◇目指す姿

日常生活の悩みや問題が少なくなっています

◇現状と課題

- ・高齢者等が多様化する特殊詐欺*などのトラブルに巻き込まれるケースが多発しています。
- ・市から地域住民に啓発情報を発信しているものの、全ての住民には伝わらない状況があります。

◇施策の方向

(1)日常生活でのトラブル防止に向けた意識啓発

- ・ホームページやコミュニティFM*、出前講座などによる啓発活動の充実
- ・関係機関等との連携による消費者問題等の最新情報の提供や注意喚起

(2)生活相談体制の充実

- ・多様化している相談に対応するための相談員のスキル向上
- ・法的解決等が必要な相談に対応する専門家相談の継続実施

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
消費者トラブルに遭わないように注意している市民の割合	消費生活情報に関心を寄せてトラブルに遭わないよう注意している市民の割合を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	49.3%	51.5%	53.0%	54.5%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
消費生活相談体制整備事業 (市民生活総合相談センター)	市民の日常生活上のトラブルや困りごとを解消するため、消費生活相談員を設置し解決のためのあっせんや助言を行うとともに、消費者トラブル防止のため、出前講座などの消費者教育を行う。	168
専門家相談会開設事業 (市民生活総合相談センター)	市民が抱える法的問題等の解決を支援するため、弁護士等の専門家による相談会を開設する。	168

施策2 防犯活動の推進

◇目指す姿

犯罪に遭う人が少なくなっています

◇現状と課題

- ・防犯隊員の人員確保が難しくなっています。
- ・市や防犯協会から地域住民に啓発情報を発信しているものの、全ての住民には伝わらない状況があります。
- ・空き家所有者の居住地が遠方であるなど管理が行き届かない空き家が増加傾向にあります。

◇施策の方向

(1) 防犯意識の啓発および生活安全対策の推進

- ・防犯隊員の確保
- ・防犯協会と連携した効率的・効果的な防犯情報の発信と防犯教室の開催
- ・関係機関や地域団体との連携による防犯パトロールなどの啓発活動の充実強化

(2) 管理不十分な空き家の対策

- ・空き家情報の把握
- ・管理不十分な空き家所有者に対する注意喚起等
- ・空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく措置の適切な実施

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
外出時に施錠している市民の割合	侵入窃盗等の犯罪に遭わないよう注意している市民の割合を示す指標です。増加を目指します。 <small>出典：花巻市（市民アンケート）</small>	82.7%	84.0%	85.0%	86.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
防犯推進事業 （市民生活総合相談センター）	市民の防犯意識を高めるため、安全安心まちづくり大会の開催や防犯協会への支援を行う。	168
空家等対策事業 （都市政策課）	空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき設置される花巻市空家等対策協議会において、花巻市空家等対策計画の変更、花巻市空家等対策推進委員会で特定空家等*に該当するか否かの判断が困難な事例の調査審議を行う。	168

施策3 交通安全の推進

◇目指す姿

交通事故が少なくなっています

◇現状と課題

- ・交通指導員の人員確保が難しくなっています。
- ・高齢者が関係する交通事故(人身)件数は横ばいで推移しています。
- ・交通安全教室参加者や交通安全コンクール参加者が減少傾向にあります。

◇施策の方向

(1)交通安全意識の啓発

- ・交通指導員の確保
- ・交通指導員による街頭啓発活動と交通安全教室の継続開催
- ・高齢者世帯への訪問活動による交通安全意識啓発活動
- ・高齢者の運転免許返納者への支援
- ・高齢者を対象とした自転車安全運転教室の開催
- ・交通安全対策協議会や地域住民組織などと連携した交通安全運動の継続実施
- ・交通安全教室や交通安全コンクールの参加促進
- ・交通安全推進モデル地区指定の継続実施

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
交通安全コンクール参加者数	交通安全推進活動への市民参加状況を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市交通安全対策協議会（統計数値）	2,438人	2,550人	2,600人	2,650人
交通事故（物損）件数 （暦年）	交通事故の発生状況を示す指標です。減少を目指します。 出典：花巻警察署（統計数値）	2,031件	1,860件	1,740件	1,630件
高齢者交通事故（人身）件数 （暦年）	高齢者が当事者となった交通事故の発生状況を示す指標です。減少を目指します。 出典：岩手県警察本部（統計資料）	80件	66件	62件	58件

政策 2-4 日常生活の安全確保

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
交通安全推進事業 （市民生活総合相談センター）	市民の交通安全意識を高めるため、交通指導員による街頭指導や交通安全関係団体への支援を行う。	168
高齢者運転免許返納支援事業 （市民生活総合相談センター）	運転に自信のなくなった高齢者が、運転免許証を自主返納しやすい環境づくりを進めることにより、高齢運転者の交通事故防止を図るため、高齢者運転免許証自主返納者への支援を行う。	168

基本政策
2-5

福祉の充実

～慣れ親しんだ地域で、共に支え合い、安心していきいきと暮らしています～

政策の方針

少子高齢化が進行する中、誰もが慣れ親しんだ地域で安心していきいきと生活を送るために、地域の住民が共に助け合う体制を確立するとともに、高齢者の生きがいづくりや障がい者の自立への支援を進めます。また、福祉サービスを必要としている人が適切にサービスを受けられるよう相談・支援体制や施設の充実を図ります。

（市民や企業に期待される役割）

◇市民の役割（地域、市民団体等を含む）

- ・地域支え合い体制*づくりへの参画*
- ・ボランティア活動や地域グループ活動、研修会等への積極的な参加による生きがいづくり
- ・高齢者や障がい者など誰もが参加しやすい地域行事の開催
- ・障がいに対する理解

◇企業の役割（事業所、個人生産者等を含む）

- ・地域支え合い体制*づくりへの参画*
- ・ユニバーサルデザイン*の推進
- ・高齢者、障がい者雇用の促進
- ・各種事業や研修会等への積極的な参加
- ・良質な介護サービスの提供

成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H31	H35
住民同士で助け合える風土があると感じる市民の割合	各地域の実情に合わせた自主的な助け合い体制の構築がなされ、住民同士が共に支え暮らす風土となっているかを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	56.3%	70.0%	80.0%

関連計画

- 花巻市保健福祉総合計画（平成 24～33 年度）
- 花巻市高齢者いきいきプラン（平成 27～29 年度）
- 花巻市障がい福祉計画（平成 27～29 年度）

施策1 地域福祉の推進

◇目指す姿

地域の住民が共に助け合って生活しています

◇現状と課題

- ・多様な価値観や生活様式の変化から、地域での支えあいが薄れてきています。
- ・住民の生活課題等が多様化・深刻化するなか、民生委員の役割は一層重要になってきています。
- ・身近に相談する人や機関がないという市民の割合が約3割(市民アンケート)となっており、特に若い世代などにその傾向が強いことから、いつでも相談できる環境が求められています。
- ・本市で生活保護を受けている世帯は平成27年度末で736世帯とほぼ横ばいですが、依然として高齢者世帯や障がい・傷病世帯の割合が高い状況にあります。
- ・新たに整備する施設については、ユニバーサルデザイン*の視点での整備が進められていますが、既存の施設の中には、その視点による整備がなされていない状況もあります。

◇施策の方向

(1) 支え合い・見守りの体制づくりの推進

- ・民生委員児童委員の負担軽減と活動の充実
- ・災害時等における要支援者の地域での見守り
- ・ボランティア活動の支援
- ・地域での交流、ふれあい活動の支援
- ・民間事業者と連携、協力した見守りネットワークの充実

(2) 福祉関係団体との連携による相談支援体制の充実

- ・地域福祉訪問相談員による訪問相談活動の充実
- ・NPO 法人等との連携による相談窓口の充実

(3) 要支援者への支援

- ・福祉制度情報の積極的な提供
- ・医療費など経済的負担の軽減
- ・権利擁護制度*の推進

(4) 生活保護の適正な実施

- ・扶助費の適正な給付
- ・生活保護受給者の就労および健康管理支援
- ・生活困窮者への自立支援

(5) ユニバーサルデザイン*の推進

- ・高齢者や障がい者など全ての人が使いやすい施設整備の推進
- ・ユニバーサルデザイン*意識の普及啓発

政策 2-5 福祉の充実

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
身近に相談できる人や機関がある市民の割合	市民がいつでも身近に相談できる体制が構築され、安心して暮らすことができる環境になっているかを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	68.8%	72.0%	73.0%	75.0%
悩みや問題を抱えたときに相談できるところ（場所や人）を知っている市民の割合	市民がいつでも身近に相談できる体制があることを知り、安心して暮らすことができる環境になっているかを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	-	72.0%	74.0%	76.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
福祉相談体制充実事業 （地域福祉課）	地域住民が抱えている様々な問題の解決に向けて、民生相談員や地域福祉訪問相談員を配置し、関係機関等との連携を図りながら広く相談に応じる。	168
地域福祉推進事業 （地域福祉課）	保健福祉に関わる複雑な課題に的確に対応するため、地域福祉専門員の配置等、保健福祉関係機関が連携し、保健福祉総合計画に基づき、福祉のまちづくりを推進する。	168
生活困窮者支援事業 （地域福祉課）	生活保護に至る前の自立支援の強化を図るため、一人ひとりに応じた総合的な支援を実施する。また、生活保護制度の適正化を図るとともに、就労支援や健康管理支援を行い、被保護者の自立を支援する。	169
生活保護事業 （地域福祉課）	生活困窮者に対し困窮の程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立した生活を支援する。	169
寡婦等医療費助成事業 （国保医療課）	ひとり親家庭の保護者が子育て後も安心して生活ができるよう、医療費を助成して経済的負担を軽減する。	169

施策2 高齢者福祉の充実

◇目指す姿

高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送っています

◇現状と課題

- ・高齢者の多くが趣味や生きがいをもって生活していますが、高齢者が持つ能力や技術を地域福祉活動に十分に活かしていない状況です。
- ・要介護等認定者や認知症高齢者の増加により、介護サービスにかかる経費が増加しています。
- ・介護や福祉サービスの利用に関する相談や高齢者虐待が疑われる事例など高齢者に関する相談件数が増加しています。

◇施策の方向

(1) 高齢者の社会参加の推進

- ・地域における生活支援の担い手となる組織の支援
- ・高齢者の社会参加活動の推進

(2) 高齢者の生活支援の充実

- ・高齢者の生活支援サービスの充実
- ・相談体制の充実
- ・高齢者の保護措置の適切な実施
- ・高齢者の権利擁護制度*の推進
- ・高齢者の包括的な支援の推進

(3) 高齢者の健康づくりの推進

- ・通いの場の立ち上げ支援など、介護予防の充実
- ・認知症の早期発見・早期治療の推進

(4) 介護サービスの充実

- ・介護サービス施設の計画的な整備
- ・地域支援事業*の充実
- ・介護サービスの質的向上

(5) 在宅医療介護の連携推進

- ・在宅生活を支える医療介護関係者の連携推進

政策 2-5 福祉の充実

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
生きがいを持って暮らしている高齢者の割合	高齢者が慣れ親しんだ地域で、地域活動やボランティア活動等を通じて、積極的に社会貢献を行っているかを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	78.0%	79.8%	81.1%	82.4%
高齢者が必要なときに必要なサービスを受けていると感じる市民の割合	高齢者が必要な福祉サービスを必要な時に受けられる環境になっているかを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	70.0%	75.4%	76.5%	77.7%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
高齢者在宅生活支援事業 (長寿福祉課)	要支援高齢者の在宅生活を支援するため、軽易な日常生活（草取り、雪払いなど）の援助や住宅改造費の補助、タクシー券の交付等の在宅福祉サービスを提供する。	169
高齢者介護予防対策事業 (長寿福祉課)	介護が必要な状態になることを予防し、介護が必要になってもできるだけ状態が悪化しないようにするために、市内温泉施設等を活用した健康増進や、デイサービス施設等を利用しての心身機能の維持向上を図るサービスを提供する。	169
高齢者福祉サービス基盤整備事業 (長寿福祉課)	高齢者福祉サービス施設等の整備促進のため、社会福祉法人等に対し施設整備に係る経費等の補助を行う。	169
在宅医療介護連携推進事業 (長寿福祉課)	在宅高齢者に医療と介護の継ぎ目のないサービスを提供するため、医療介護連携体制を構築する。	169
介護予防・日常生活支援総合事業 (長寿福祉課)	住み慣れた地域で健康に暮らし続けるため、地域で行う生活支援の仕組みづくりを進めながら、地域包括ケアシステム*の構築を目指す。	169

施策3 障がい者福祉の充実

◇目指す姿

障がい者が自立した生活を送っています

◇現状と課題

- ・障がいへの理解が進んでいると思う市民の割合が約3割(市民アンケート)と低く、市民一人ひとりの意識や地域での障がい者への支援が十分とはいえない状況です。
- ・障がい者は、自立した生活を送るうえで、自分や家族の健康、将来の生活の場、十分な収入が得られるかどうかなどの不安を感じています。
- ・障がい者は、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、必要に応じた相談支援を受けられる体制の整備を求めています。

◇施策の方向

(1)障がい福祉サービスの充実

- ・障がい福祉制度の情報提供
- ・障がい福祉サービスの提供
- ・障がい者の生活支援サービスの提供
- ・障がい福祉サービス提供施設の整備促進

(2)障がい者の自立した生活の支援

- ・相談体制の充実
- ・障がい者の重度化・高齢化・親亡き後を見据えた居住支援の体制整備
- ・医療やリハビリテーションの充実のための医療機関との連携
- ・障がい者の就労支援、障がい者雇用の普及啓発
- ・医療費給付、手当支給など経済的負担の軽減

(3)ノーマライゼーション*の推進

- ・障がい者の社会参加の促進
- ・市民への障がいに対する知識の普及啓発、理解の促進
- ・手話、要約筆記、点訳、朗読などの福祉ボランティア養成、活動の周知

政策 2-5 福祉の充実

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
障がい福祉サービスに満足している障がい者の割合	自立した生活を送るため必要な障がい福祉サービスを必要な時に受けられる環境になっているかを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（障がい福祉サービス利用アンケート）	85.6%	85.7%	86.4%	87.1%
障がいへの理解が進んでいると思う市民の割合	障がい者と健常者が社会参加等を通じ積極的に交流できる、障がい者が安心して自立した生活を送る環境になっているかを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	30.5%	31.5%	32.5%	33.5%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
障がい者等相談支援事業 (障がい福祉課)	障がい者の日常生活および社会生活を支援するため、障害者総合支援法に基づき相談員・支援員を配置するほか、地域自立支援協議会の運営を支援するとともに、障がい福祉サービス提供事業所が放課後等デイサービスやグループホーム、就労支援事業所、生活介護事業所を整備する場合の費用の一部を助成する。	169
障がい者地域生活支援事業 (障がい福祉課)	障がい者の日常生活および社会生活を支援するため、障害者総合支援法に基づく市町村必須事業である福祉サービスの提供、各種助成事業および地域生活支援拠点等の整備、手当の支給を実施する。	169
障がい者自立支援事業 (障がい福祉課)	障がい者の日常生活および社会生活を支援するため、障害者総合支援法に基づく介護訓練等給付および自立支援医療を実施する。	169
障がい児支援事業 (障がい福祉課)	障がい児が利用する施設の運営団体に費用を支援することにより、利用する児童の保護者の経済的負担を軽減する。	169
障がい児通所等給付事業 (障がい福祉課)	障がいの特性、発達段階に応じた適切な療育支援が安定して行われるよう、障がい児通所支援の利用等に要する費用を給付する。	169
重度心身障がい者医療費助成事業 (国保医療課)	重度心身障がい者の自立した生活を支援するため、医療費を助成して経済的負担を軽減する。	169

基本政策
2-6

健康づくりの推進

～心身ともに健康に暮らしています～

政策の方針

市民が心身ともに健康に暮らしていくためには、自らが健康づくりに関心を持つとともに、保健や医療など関係機関が連携した総合的な健康づくりの推進が必要です。

そのために、健康に関する意識の向上を図るなど市民の健康づくりを支援するほか、安心して出産や育児ができるよう母子保健を推進します。また、関係機関と連携し、安心して医療が受けられるよう地域医療の充実を図ることとし、以下の施策を展開します。

(市民や企業に期待される役割)

◇市民の役割(地域、市民団体等を含む)

- ・健康づくりへの取り組み
- ・定期的な健(検)診*の受診
- ・健康講座等への積極的な参加
- ・正しい生活リズムや適度な運動、バランスの良い食生活の実践
- ・適切な受診のため、かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師を持つ

◇企業の役割(事業所、個人生産者等を含む)

- ・健(検)診*等の実施と受診の勧奨
- ・健康講座、健康相談会の開催
- ・産業医の設置
- ・健康管理室(保健室)の設置
- ・病院や診療所、介護事業所等の緊密な連携

成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H31	H35
自分自身が心身ともに健康であると思う市民の割合	自分自身の現在の健康状態を自ら判断し、健康への関心や健康づくりへの意識の高まりを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市(市民アンケート)	58.7%	73.6%	75.0%

関連計画

- 花巻市保健福祉総合計画(平成24～33年度)
- 健康はなまき21プラン(平成24～33年度)
- 花巻市の地域医療ビジョン(平成26年度～)
- 第2期花巻市国民健康保険特定健康診査等実施計画(平成25～29年度)
- 第2期花巻市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)(平成27～29年度)

施策1 健康づくりの支援

◇目指す姿

健康に対する意識が高まっています

◇現状と課題

- ・朝食をとる人の割合が、幼児・小学生・中学生・高校生・20歳代男性で減少しています。
- ・健康のため食事に気をつけている市民の割合は約5割、意識的に運動をしている市民の割合は約3割と、健康への意識が低い状況です。
- ・本市では、生活習慣病*である「脳血管疾患」の死亡率が全国と比較して高い状況です。

◇施策の方向

(1)健康づくりや健康寿命を延ばす取り組みの支援

- ・食事や運動、正しい健康情報の普及啓発
- ・望ましい食生活や運動の実践など健康づくりへの支援
- ・医師会や歯科医師会など関係機関と連携した各種健康講座などの実施
- ・口腔機能の維持の重要性など、歯科保健の普及啓発と歯科健(検)診*の実施
- ・各年代に向けた食育講座などによる食育の普及啓発

(2)生活習慣病*の予防の推進

- ・生活習慣病*予防に向けた自己管理(セルフケア)の普及啓発と支援
- ・健(検)診*の受診率向上と個別の特性に応じた保健指導の実施

(3)感染症予防の推進

- ・予防接種の実施と普及啓発

政策 2-6 健康づくりの推進

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
食事に気をつけている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取り組みとして、普段から食事に気をつけているかどうかを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	55.2%	58.8%	60.6%	62.4%
健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取り組みとして、意識的に運動しているかどうかを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	32.5%	38.4%	40.3%	42.2%
定期的に健康診断などを受けている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取り組みとして、定期的に健康診断を受診しているかどうかを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	72.2%	73.0%	73.5%	74.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
健康教育相談事業 （健康づくり課）	市民の健康の維持・増進を図るため、各種健康講座の開催、要注 意者への個別指導等を実施する。	170
健康診査事業 （健康づくり課）	疾病の早期発見・早期治療につなげるため、定期の健康診査と各 種がん検診を行う。	170
感染症予防対策事業 （健康づくり課）	感染症の発生や蔓延を予防するため、各種予防接種を実施する。	170
後期高齢者医療費事務 事業 （健康づくり課）	後期高齢者の生活習慣病*を早期発見するため健康診査を実施す る。	170
健康づくり推進事業 （健康づくり課）	健康づくり計画や事業の円滑な推進を図るため、関係団体と連携 して各事業を行う。	170
食生活改善推進事業 （健康づくり課）	市民の健康保持増進を図るため、食生活の正しい知識と技術を普 及する。	170
歯科保健事業 （健康づくり課）	成人歯科検診、歯周病予防、訪問歯科診療、歯科衛生教育および 歯科保健大会を通じ歯科口腔保健を推進する。	170

施策2 母子保健の推進

◇目指す姿

安心して出産し、親子が健やかに育っています

◇現状と課題

- ・様々な悩みや育児不安を抱えながら孤立している妊産婦や産後うつになる人が増えてきています。
- ・安心して出産、子育てできる環境の充実が求められています。

◇施策の方向

(1) 妊娠・出産の環境づくりの推進

- ・妊娠期から産後、子育て期まで切れ目ない支援体制の充実
- ・妊産婦の不安解消を行う産前産後ケア*事業の構築
- ・妊娠、出産に関する知識の普及啓発
- ・妊婦一般健康診査の実施と受診しやすい環境づくり
- ・医療機関などと連携した相談、支援体制の充実
- ・不妊治療や医療費など経済的負担の軽減

(2) 乳幼児の健康の保持・増進

- ・乳幼児健康診査の実施と受診しやすい環境づくり
- ・乳幼児の予防接種の実施と普及啓発
- ・医療費など経済的負担の軽減

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
妊婦一般健康診査受診率	妊婦の健康診査の受診状況を示す指標です。100%の維持を目指します。 <small>受診者数 / 母子手帳交付者数</small>	98.3%	100.0%	100.0%	100.0%
乳幼児健康診査受診率	乳幼児の健康診査の受診状況を示す指標です。100%の維持を目指します。 <small>受診乳幼児数 / 健康診査対象乳幼児数</small>	98.7%	100.0%	100.0%	100.0%

政策 2-6 健康づくりの推進

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
乳幼児医療費助成事業 （国保医療課）	安心して健康な子どもを産み育てる環境づくりのため、医療費を助成して、保護者の経済的負担を軽減する。	170
妊産婦医療費助成事業 （国保医療課）	妊産婦の健康づくりのため、医療費を助成して経済的負担を軽減する。	170
母子保健事業 （健康づくり課）	妊娠前から子育て期にわたる母子保健や、育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、健康診査、相談支援、産前産後ケア*を実施する。	170
養育医療費助成事業 （健康づくり課）	未熟児養育医療給付を行い、医療費を助成して経済的負担を軽減する。	170
特定不妊治療*費助成事業 （国保医療課）	特定不妊治療*を受けやすい環境づくりのため、治療費を助成して経済的負担を軽減する。	170
特定妊婦*支援事業 （健康づくり課）	一人孤立して育児に悩まないために妊娠中から特定妊婦*を把握し、必要な支援を行う。	170

施策3 地域医療の充実

◇目指す姿

安心して必要な医療を受けています

◇現状と課題

- ・かかりつけ医などを持つ市民の割合は約7割(市民アンケート)と横ばいとなっておりますが、病診機能の役割分担の重要性など仕組みの理解が不十分な状況です。
- ・市民が安心していつでも必要な医療が受けられる地域医療の環境整備が求められています。

◇施策の方向

(1)地域医療体制の推進

- ・病診連携*に関する普及啓発やかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師に関する情報提供
- ・医師会、歯科医師会や薬剤師会、医療機関等との連携
- ・休日当番医制の実施と休日歯科診療所の運営
- ・病院群輪番制*や二次医療機関*への支援
- ・将来展望に立った、入院施設を含む医療供給体制の確保
- ・「地域医療構想*」や「地域医療ビジョン*」の周知と実施
- ・岩手中部地域医療情報ネットワークによる地域包括医療体制の構築

◇成果指標

指標名	指標の説明	H27 (基準値)	H29	H30	H31
かかりつけ医を持っている市民の割合	病診連携*や上手な医療機関の利用への市民意識の高まりを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	71.5%	76.0%	77.0%	78.0%
かかりつけ歯科医を持っている市民の割合	病診連携*や上手な医療機関の利用への市民意識の高まりを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	72.3%	76.0%	77.0%	78.0%
かかりつけ薬剤師を知っている市民の割合	病診連携*や上手な医療機関の利用への市民意識の高まりを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	-	50.0%	55.0%	60.0%

政策 2-6 健康づくりの推進

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
救急医療確保事業 （地域医療対策室・健康づくり課）	市民がいつでも安心して医療を受けられようとするため、休日・夜間等の救急医療体制を確保する。	170
地域医療ビジョン*推進事業 （地域医療対策室）	地域医療ビジョン*に掲げる施策を推進する。	170
総合花巻病院移転整備支援事業 （地域医療対策室）	市民が安心して必要な医療を受けるため、地域医療の中核を担う総合花巻病院の移転整備事業の実現に向けた支援を行う。	170